

取組名称	ゴミで世界中を笑顔に！SDGs万華鏡“KAGUYA”プロジェクト ～ 少し動けば景色は変わる ～			団体設立後の経過年数	6年目 (2021年法人取得)
応募取組主体名称	NPO法人SDGs Spiral	活動地域	福岡県を中心に 全国・世界	応募取組の活動年数	6年目
取組主体の種類	企業 / 学校 / <b>NPO・任意団体</b> / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門 (概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください) / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	<b>サステナブルデザイン賞</b> / <b>子どもエンパワーメント賞</b> / <b>環境と福祉賞</b> / <b>環境地域ブランディング賞</b> / <b>環境ひとづくり賞</b> / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / <b>EXPO2025 いのち動的平衡賞</b>				



取組の要旨	<p>「SDGs万華鏡“KAGUYA”プロジェクト」は障害者が社会参加・自立を目指す取組です。全部で5つのプロジェクトがあり、子どもから大人までが楽しく学ぶことができる持続可能な社会を目指しています。今回の活動は第一弾SDGs万華鏡“KAGUYA”で、「竹林整備・森林保全」「海岸清掃」「万華鏡づくりワークショップ」の3つの活動を通して、様々な人や団体とつながり、持続可能な社会の実現に向け、山や海などの複数の課題を同時に解決・改善しながら子ども達のより良い未来を目指しています。</p>
実績の要旨	<p>「SDGs万華鏡“KAGUYA”プロジェクト」では、これまでに様々な方や団体（地域、企業、行政、教育機関、世界）と連携することで、全国・世界（インド・韓国）へと活動は広がってきています。「竹林整備・森林保全」「海岸清掃」「万華鏡づくりワークショップ」で50を超える活動に取り組み、3000人以上の方が参加しました。障害をもつ子ども達が中心となり、地域住民が力を合わせることで、山の課題と海の課題を同時に解決しました。また、高齢者ボランティアの協力や子どもから大人までが楽しんで参加できる活動とすることで、全国的に課題となっている少子高齢化の課題や地域の活性化の課題改善につながりました。令和7年度の中学校教科書にも掲載予定です。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	環境保全はもちろん、ゴミを使った万華鏡づくりを通して子どもから大人までが楽しく学べる持続可能な環境教育教材です。
	社会・経済への貢献	これまで3千人を超える方々が活動に参加しました。また、企業や地域等多くの機関と連携することで、地域の活性化につながっています。
	地域資源の活用	山の課題である竹や間伐材、海の課題であるシーグラスやマイクロプラスチックなどのゴミを万華鏡の材料とし、地域の課題を解決しています。
	普及・汎用性	地域の課題に応じた様々な万華鏡を作成することができます。令和7年度の中学校の教科書で優良実践として掲載予定です。
	革新・ユニーク性	障害をもっている子ども達が中心となって活動することで「誰一人取り残さない社会の形成」を目指しています。
	継続性	国内外の機関との連携や教育機関での活用、地域とのつながりにより、今後もさらなる活動の拡大が期待されています。

展望の要旨	誰もが参加できるSDGs万華鏡“KAGUYA”プロジェクトを通して、多くの方とつながり、地球の課題を「自分ごと」として共に解決していきたい。
-------	--